



令和 6 年度
(2024)

大学院 入学試験要項

薬学 研究科

健康薬科学専攻修士課程

薬学専攻博士課程(4年制)

《一般入学試験》

《社会人入学試験》

《外国人留学生入学試験》

福 岡 大 学

人材養成及び教育研究上の目的

薬学研究科は、薬学に関する学術の理論及び応用を教授・研究し、その深奥を究めて、広く医療の進展に寄与することを理念とする。

修士課程の健康薬科学専攻においては、創薬科学系・健康科学系研究者及び技術者を養成するほか、薬剤師の総合的薬学専門力を強化することにより、薬剤師職能の拡大・高度化を図ることを目的とする。この目的に基づき、創薬科学、健康科学、基礎薬学と医療薬学を包括した総合的研究・教育プログラムを展開することにより、医療に関する深い知識と問題解決能力を有する多様な分野の研究者、教育者及び専門職業人の養成を行う。

博士課程の薬学専攻においては、医療現場における様々な課題に迅速かつ適切に対応できる高度な専門知識と優れた研究能力を備えた薬剤師の養成を目的とする。この目的に基づき、医療の現場における臨床的な課題を対象とする研究領域を中心とした臨床薬学・医療薬学に関する教育プログラムを展開することにより、高度な専門性や優れた研究能力を有する高度化医療に対応できる薬剤師の養成を行う。併せて、生命科学、創薬科学に関する教育プログラムを展開することにより、医療に関する深い知識と問題解決能力を有する薬学研究者及び教育者の養成を行う。

アドミッションポリシー

健康薬科学専攻（修士課程）

薬学研究科健康薬科学専攻は、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる意欲と能力等を備えた学生・社会人を受け入れる。

- ・医療や科学に関わる人として、高い倫理観と豊かな人間性を備えている。（AP1）
- ・学修に意欲があり、研究に興味と熱意がある。（AP2）
- ・薬学あるいは関連する科学領域における基礎的学力がある。（AP3）
- ・薬学部以外の出身者であっても、薬に興味を持ち、これを積極的に学び、研究する意欲がある。（AP4）
- ・自らの研究をもって国民の健康と福祉に貢献していきたいとの意思がある。（AP5）

【入学者選抜の在り方】

一般入試では、AP3 および 4 について筆記試験による検定を行う。また、通常委員会構成員により行われる面接においては、AP1, 2, および 5 に関わる内容について質疑応答を行う。その後の通常委員会において筆記試験結果と面接内容について協議した上で、合否判定を行うが、合否の判断は専ら筆記試験の結果を重要視する。

推薦入試においては、AP3 および 4 についての評価は、学部における評価点（GPA）などを参考にして評価する。また、AP1, 2, および 5 の評価は、面接における質疑応答について通常委員会構成員が評価を行い、先の学部における評価点と合わせて総合的に合否を判定する。

薬学専攻（博士課程）

薬学研究科薬学専攻では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる意欲と能力等を備えた学生・社会人・留学生を受け入れる。

- ・医療に関わる人として、高い倫理観と豊かな人間性を備えている。（AP1）
- ・学修に意欲があり、研究に興味と熱意がある。（AP2）
- ・薬学に関する基礎的学力があり、研究に関する基礎的技術力がある。（AP3）
- ・研究活動に対応できる英語力を有している。（AP4）
- ・自らの研究をもって国民の健康と福祉に貢献していきたいとの意思がある。（AP5）

【入学者選抜の在り方】

一般入試では、AP3 および 4 について筆記試験による検定を行う。また、通常委員会構成員により行われる面接においては、AP1, 2, および 5 に関わる内容について質疑応答を行う。その後の通常委員会において筆記試験結果と面接内容について協議した上で、合否判定を行うが、合否の判断は専ら筆記試験の結果を重要視する。

推薦入試においては、AP3 および 4 についての評価は、学部における評価点（GPA）などを参考にして評価する。また、AP1, 2, および 5 の評価は、推薦者による評価や面接における質疑応答について通常委員会構成員がルーブリック評価を行い、先の学部における評価点と合わせて総合的に合否を判定する。

教育の目標

健康薬科学専攻【修士課程】

1. 創薬科学，健康科学，基礎薬学と医療薬学を包括した総合的研究・教育プログラムを展開することにより，医療に関する深い知識と問題解決能力を有する多様な分野の研究者，教育者及び専門職業人の養成を行うことを教育目標とする。
2. 薬剤師の総合的薬学専門力を強化することにより，薬剤師職能の拡大・高度化を図ることを教育目標とする。

薬学専攻【博士課程（4年生）】

1. 医療の現場における臨床的な課題を対象とする研究領域を中心とした臨床薬学・医療薬学に関する教育プログラムを展開することにより，高度な専門性や優れた研究能力を有する高度化医療に対応できる薬剤師の養成を行うことを教育目標とする。
2. 生命科学，創薬科学に関する教育プログラムを展開することにより，医療に関する深い知識と問題解決能力を有する薬学研究者及び教育者の養成を行うことを教育目標とする。

目 次

(健康薬科学専攻)

《一般入学試験》《社会人入学試験》

薬学研究科健康薬科学専攻修士課程の概要	1
1 募集人員	2
2 出願資格	2
3 入学試験日・願書受付期間	3
4 出願手続	3
(1) 提出書類その他	(3)
(2) 入学検定料の納入方法	(4)
(3) 出願上の注意	(4)
5 出願受付時間・場所	4
6 受験票	4
7 試験場・試験会場	4
8 試験科目・試験時間	5
9 合格発表	5
10 入学手続	6
(1) 入学に要する経費等	(6)
(2) 入学辞退について	(6)
11 その他	6
薬学研究科健康薬科学専攻の授業科目・単位・履修方法等の概要	8～10
(1) 専修部門・専修授業科目・専門分野・指導教員・指導教員研究領域	(8)
(2) 選択授業科目	(9)
(3) 授業科目の履修方法	(9)
(4) 授業時間	(9)
(5) 専修部門指導教員 内線番号	(10)

(博士課程(4年制))

《一般入学試験》《社会人入学試験》

薬学研究科薬学専攻博士課程の概要	11
1 募集人員	12
2 出願資格	12
3 入学試験日・願書受付期間	13
4 出願手続	13
(1) 提出書類その他	(13)
(2) 入学検定料の納入方法	(14)
(3) 出願上の注意	(14)
5 出願受付時間・場所	14
6 受験票	14

7	試験場・試験会場	14
8	試験科目・試験時間	15
9	合格発表	15
10	入学手続	16
	(1) 入学に要する経費等	(16)
	(2) 入学辞退について	(16)
11	その他	16

薬学研究科薬学専攻の授業科目・単位・履修方法等の概要		18～20
(1)	専修部門・専修科目・専門分野・指導教員・指導教員研究領域	(18)
(2)	基礎実習・担当教員	(19)
(3)	特修科目・担当教員	(19)
(4)	専門力養成プログラム・評価教員	(19)
(5)	授業科目の履修方法	(20)
(6)	専修部門指導教員 内線番号	(20)

(博士課程(4年制))

《外国人留学生入学試験》

1	募集人員	21
2	出願資格	21
3	入学試験日及び願書(第1次選考書類)受付期間	22
4	出願手続	22
	(1) 提出書類その他	(22)
	(2) 第1次選考(書類審査及び出願資格審査)について	(26)
	(3) 第2次選考検定料(入学検定料)の納入方法	(26)
	(4) 出願上の注意	(26)
5	願書(第1次選考書類)受付	26
6	受験票及び受験許可書	27
7	試験場・試験会場	27
8	試験科目・試験時間	27
9	合格発表	27
10	入学手続	28

(巻末)健康薬科学専攻・薬学専攻博士課程(4年制)共通

◇個人情報取り扱いについて

◇福岡大学大学院長期履修制度について

薬学研究科健康薬科学専攻修士課程の概要

福岡大学大学院薬学研究科は、健康薬科学専攻修士課程を開設しています。その目的及び教育内容は下記のとおりです。

1 人材養成及び教育研究上の目的

薬学研究科は、薬学に関する学術の理論及び応用を教授・研究し、その深奥を究めて、広く医療の進展に寄与することを理念とする。修士課程の健康薬科学専攻においては、創薬科学系・健康科学系研究者及び技術者を養成するほか、薬剤師の総合的薬学専門力を強化することにより、薬剤師職能の拡大・高度化を図ることを目的とする。この目的に基づき、創薬科学、健康科学、基礎薬学と医療薬学を包括した総合的研究・教育プログラムを展開することにより、医療に関する深い知識と問題解決能力を有する多様な分野の研究者、教育者及び専門職業人の養成を行う。

2 教育内容

本専攻は、健康創薬科学プログラムと総合薬学プログラムの2プログラムで構成されている。

健康創薬科学プログラムは、理学、工学、薬学(薬科学科、旧4年制)、スポーツ科学、農学、栄養学等の理系学士が主たる対象者であるので、学際的な健康科学領域において活躍できる人材を輩出することを目標として下記のように教育課程を編成している。

1. 薬学に対する包括的理解を支援するため、薬学に関する基礎を学修できる科目を配置
2. 健康科学、創薬科学、医療薬学に関するテーマを多面的に学べるようにオムニバス形式の特論科目を配置
3. 健康科学、創薬科学、医療薬学に関する課題研究を通じて、学際的な健康科学領域において活躍できる実践力を養う演習科目と特別実験科目を配置

総合薬学プログラムは、現場薬剤師が主たる対象者であるので、先導的薬剤師として地域に密着した医療貢献ができるようになることを目指して下記のように教育課程を編成している。

1. 最新の薬学を学べるリカレント教育科目を配置
2. 最先端医・薬学を体系的かつ系統的に学べる特論科目を配置
3. 課題研究活動を通じて医薬情報構築および評価能力を培い、先導的薬剤師として医療貢献ができる実践力を養う演習科目と特別実験科目を配置

3 教育方法

本専攻は、社会人が在職のまま就学できる体制をとるため、大学院設置基準第2条の2による専ら夜間において教育を行います。

履修方法・授業時間等については、8～10頁「薬学研究科健康薬科学専攻の授業科目・単位・履修方法等の概要」を参照してください。

《一般入学試験・社会人入学試験》

1 募集人員

研究科名	専攻名	課程名	標準修業年限	入学定員
薬学研究科	健康薬科学専攻	修士課程	2年	2名

※入学定員には、専攻で実施するすべての入学試験の人員を含みます。

2 出願資格

志願者は、出願までに希望する専修授業科目担当者（指導教員）（8頁・10頁参照）へ事前に必ず連絡をとっておくこと。（専修授業科目指導教員を決めていない志願者は薬学研究科長または学務委員に事前に相談すること。）

《一般入学試験》	《社会人入学試験》
<p>次の各号のいずれかの条件に該当する者</p> <p>① 学校教育法第83条の大学を卒業した者及び令和6年3月までに卒業見込みの者</p> <p>② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者）及び令和6年3月までに学士の学位を授与される見込みの者</p> <p>③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑥ 外国の大学その他の外国の学校*¹において、修業年限が3年以上である課程を修了すること*²により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者</p> <p>*1) その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。</p> <p>*2) 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。</p> <p>⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑧ 文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑨ 学校教育法第102条第2項の規定（飛び級入学）により大学院に入学した者であって、本学の大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの^(注1)</p> <p>⑩ 本学の大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したものと及び令和6年3月までに達するもの^(注2)</p>	<p>改正学校教育法の施行日（平成18年4月1日）より前に薬学部に入学者で、薬剤師免許を有し、薬剤師業務もしくは大学・研究所・各種公共団体・企業等における研究及び教育のいずれかを1年以上（出願時点）経験している者。入学後も在職のまま就学する者は、勤務先所属長の許可を得て、修了に必要なすべての科目を履修できる者</p>
<p>(注1) 出願資格⑨の条件は、「日本の大学から日本の大学院に飛び級入学した者」であること。 (注2) 出願資格⑩の条件は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生その他の教育施設の修了者」であること。</p>	

- ◆ 一般入学試験出願資格⑨⑩に該当する出願者は**出願資格審査**（書類審査と筆記試験）を行います。下記のとおり審査に要する書類を提出してください。
- ◇書類提出期間：秋季志願者 令和5年7月10日（月）～7月12日（水）
 春季志願者 令和5年12月4日（月）～12月6日（水）
 午前10時～午後4時（正午～午後1時を除く）
 郵送の場合は、書留郵便とし、受付最終日までに必着のこと。
 封筒の表には、「薬学研究科出願書類在中」と朱書きしてください。
- ◇提出書類
- ① 志願票・履歴書（本学所定用紙）
 職歴は、詳しく記入してください。
 業績がある者は記入してください。業績とは、「著書、研究論文、学会発表、特許、専門性実務経験等」
 資格保有者は、その証明書の写しを添付してください。
 - ② 最終学歴の証明書
 〈出願資格⑨〉
 ・出身大学の成績証明書
 ・在籍期間及び退学年月日が記載された出身大学の証明書
 ・入学年月日が記載された出身大学院の証明書
 〈出願資格⑩〉
 ・最終卒業（修了）学校の卒業証明書及び成績証明書
 - ③ 志望動機と目的（任意の様式）
 400字以上、A4縦長・横書き（上部に、志願者の氏名と志望する専攻授業科目及び指導教員を記入すること）
- ◇出願資格審査日時：追って本人宛に通知します。
- ◇審査結果：審査の結果は、本人宛に通知します。審査に合格し受験が認められた者は、入学検定料を納入し、残る出願提出書類を受付期間遵守のうえ提出してください。

3 入学試験日・願書受付期間

秋季（1回）と春季（1回）の2回実施します。

募集区分	入学試験日	願書受付期間
秋季入学試験	令和5年9月12日（火）	令和5年8月22日（火）～8月24日（木）
春季入学試験	令和6年2月14日（水）	令和6年1月15日（月）～1月18日（木）

4 出願手続

(1) 提出書類その他

《一般入学試験》	《社会人入学試験》
① 志願票・履歴書（本学所定用紙） ② 副票・受験票（本学所定用紙） ③ 最終出身大学等の成績証明書 ④ 最終出身大学等の卒業証明書または卒業見込証明書 ⑤ 学士の学位証明書または学位取得見込証明書 （※出願資格②により出願する者のみ） ⑥ 入学検定料領収書（大学提出） ⑦ 住所シート（本学所定用紙） 注1：2頁の出願資格③・④・⑥・⑧に該当する者で、上記書類のうち提出不可能なものがある場合には、事前に大学院事務課へ相談してください。 注2：出願資格によっては、上記以外の書類の提出をお願いすることがあります。	① 志願票・履歴書（本学所定用紙） ② 副票・受験票（本学所定用紙） ③ 最終出身大学等の成績証明書 ④ 最終出身大学等の卒業証明書 ⑤ 薬剤師免許証の写し ⑥ 職務実績書（本学所定用紙） ⑦ 推薦書（任意の様式） （所属機関等の所属長または出身大学の指導教員もしくはそれに準ずる者が作成したもの（宛名：福岡大学大学院薬学研究科長）） ⑧ 受験及び就学承諾書（本学所定用紙） （入学後も在職のまま就学する者のみ） （※本学職員の場合、事前に大学院事務課まで相談してください。） ⑨ 入学検定料領収書（大学提出） ⑩ 住所シート（本学所定用紙）
注3：改姓がある場合は、戸籍抄本等をつけてください。 証明書は1年以内に発行されたもの。	

(2) 入学検定料の納入方法

入学検定料	32,000円
-------	---------

入学検定料は、最寄の金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）から本学所定の「振込用紙」に記載した指定金融機関宛に振り込んでください。

なお、振込みの際に受取った「入学検定料領収書（大学提出）」を、指定の入学検定料領収書貼付台紙に貼って、他の出願書類とともに提出してください。

(注) 自動振込機（ATM）から振込みを行う場合は、氏名の前に「振込用紙」の「整理番号」を必ずご入力ください。振込みを証明できるもの（利用明細票の写し）を指定の入学検定料領収書貼付台紙に貼って提出してください。

(注) インターネットバンキングによる振込みは受付できません。

(3) 出願上の注意

- ① 該当する出願資格に記載された条件の内容を必ず確認してください。
- ② 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。
- ③ 志願票の志望専修授業科目欄には、8頁の「(1)専修部門・専修授業科目・専門分野・指導教員・指導教員研究領域」から、【専修部門】・【専門分野】・【指導教員】を選択し、記入してください。なお、出願前に必ず志望専修授業科目担当者（指導教員）に事前に連絡をとってください。
- ④ 一度払い込まれた入学検定料及び提出した書類（論文含む）の返還請求には応じません。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 健康の状況について

疾病・障がい等により、受験時および修学上配慮を必要とされる方は、出願前のできるだけ早い時期に大学院事務課へ相談ください。（症状についての具体的な内容が記載された診断書を添えてください。障害者手帳をお持ちの方は、そのコピーも添えてください。）

5 出願受付時間・場所

① 受付時間

午前 10 時～午後 4 時（正午～午後 1 時を除く）

② 受付場所・問合せ先

福岡大学大学院事務課（福岡大学中央図書館 6 階）

〒 814-0180 福岡市城南区七隈八丁目 19 番 1 号

TEL (092) 871-6631 内線 2913～2916

* 郵送の場合は、書留郵便とし受付最終日までに必着とします。

封筒の表には、「薬学研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

6 受 験 票

- ① 出願手続完了者には、「受験票」を送付します。
- ② 試験日の 5 日前までに到着しない場合は連絡してください。
- ③ 「受験票」は入学手続完了まで保管してください。

7 試験場・試験会場

福岡市城南区七隈八丁目 19 番 1 号 福岡大学 内

* 試験会場については、試験当日の午前 8 時 30 分に中央図書館西側 1 階入口（大学院エントランス）に掲示します。

* 受験者は全員午前 9 時までに試験会場に集合してください。

8 試験科目・試験時間

	《一般入学試験》	《社会人入学試験》
9:00 }	受験上の注意	受験上の注意
9:15 } 10:45	英語	小論文
	専門科目(2科目)	専門科目
11:00 } 12:30	(A) 薬科学科卒(見込み者含む)・旧4年制薬学部卒(見込み者含む) ◆下記17科目より2科目選択 ・薬化学 ・医薬品化学 ・生薬学 ・生化学 ・衛生化学 ・微生物薬品化学 ・薬品分析学 ・機器分析学 ・薬品物理化学 ・臨床疾患薬理学 ・生体機能制御学 ・免疫・分子治療学 ・臨床薬物治療学 ・応用薬剤学/薬学疾患管理学 ・創剤学/薬物送達学 ・医薬品情報学 ・病院薬学/救急・災害医療薬学/腫瘍・感染症薬学/地域医療薬学 (B) (A)以外の学部学科卒(見込み者含む) ◆基礎科目(3科目)から1科目選択, 志望する専修授業科目(専門分野)の 専門科目を1科目 計2科目 ①基礎科目: 基礎有機化学, 基礎物理化学, 基礎生物化学 ②志望する専修授業科目(専門分野)の専門科目	(免除)
15:00 }	面接 (口頭試問)	面接 (口頭試問)

◆英語の受験には辞書(1冊), 専門科目の受験には電卓の持込みを許可します。

9 合格発表

① 合格発表日時

秋季入学試験 合格発表	令和5年10月2日(月)午前10時
春季入学試験 合格発表	令和6年3月4日(月)午前10時

② 合格者の受験番号を掲示するとともに, 合格者へは入学手続書類を郵送(簡易書留)します。不合格者への通知はいたしません。

◇掲示場所: 大学院事務課前(福岡大学内 中央図書館6階)

③ 福岡大学公式ホームページ内の「大学院個別サイト」(<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載いたします。

④ 可否に関する電話による問合せには一切応じません。

10 入 学 手 続

- ※ 入学手続書類等の詳細な指示は、合格通知とともに通知します。
- ※ 入学申込金・授業料その他諸納入金の納入については、「(1) 入学に要する経費等」の学費等納入金表を参照してください。
- ※ 入学手続書類等に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

(1) 入学に要する経費等 (修士課程)

学 費 等 納 入 金 表

(単位：円)

区 分		本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了	備 考	
入学時 納入金	入学申込金(入学金)	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入	
	第一期分 学費等納入金	第一期分授業料	315,000	315,000	315,000	毎年度納入
		第一期分教育充実費	70,000	70,000	70,000	
		委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
		(小計)	388,000	388,000	403,100	
計	508,000	388,000	523,100			
第二期 払込分	第二期分 学費等納入金	第二期分授業料	315,000	315,000	315,000	毎年度納入
		第二期分教育充実費	70,000	70,000	70,000	
	計	385,000	385,000	385,000		
初年度納入金 合計		893,000	773,000	908,100		

◆上記合計金額のうち、「入学申込金」及び「第一期分学費等納入金」として、下記の金額を所定の期日までに納入してください。(納入期限当日の収納日付印まで有効)

費 目	本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了
入 学 申 込 金	120,000	0	120,000
	◇納入期限：秋季入学試験合格者 春季入学試験合格者		令和5年10月17日(火) 令和6年3月13日(水)
第 一 期 分 学 費 等 納 入 金	388,000	388,000	403,100
	◇納入期限：秋季入学試験合格者・春季入学試験合格者ともに 令和6年3月21日(木)		

※納入期限後はいかなる理由があっても受け付けできません。

※所定の期限までにこれらの手続きを完了してください。

※二年次以降の学費等納入金のうち、「委託徴収金」の金額には多少の変動が生じることがあります。

(2) 入学辞退について

- ① 合格発表後に入学を辞退する場合は『入学辞退届』を提出してください。
- ② 入学手続き終了後に入学を辞退する場合は『入学辞退届』を提出した方に限り、入学申込金(入学金)を除く第一期分学費等納入金を返還いたします。

11 そ の 他

◇ 既修得単位認定制度

本学大学院に入学する前に他の大学院(外国を含む。)において履修した授業科目について修得した単位は、当該研究科通常委員会の議を経て、15単位を超えない範囲で本学の大学院における授業科目の履修により修得したものと認めることがあります。希望者は、申請条件や申請時期等について、出願前に大学院事務課へご確認ください。

◇ 奨学金制度

- ・日本学生支援機構奨学金と地方公共団体、民間団体が実施している奨学制度があり、広く活用しています。
これらの奨学金には、返還義務のある「貸与型奨学金」や返還義務のない「給付型奨学金」があり、条件もそれぞれ異なっていますので、事前の確認を忘れないようにしてください。
- ・募集・案内等は、内容に応じて大学院事務課前・中央・各学部事務室の掲示板およびF Uポータルで行います。担当窓口は、学生課の奨学金窓口です。

【貸与型奨学金例（返還義務のあるもの）】

種 類		詳	細
日本学生支援機構の奨学金	第一種奨学金 ・無利子 ・返還免除制度あり	人物、学業ともに優れ、経済的理由によって修学困難な学生に対し、日本学生支援機構から貸与される制度です。貸与期間は標準修業年限内です。 なお、収入基準額は、学部学生は家計支持者の収入額ですが、大学院生は本人の収入額です。	《募集時期》 ・予約採用 11月中旬（予定） 対象者 推薦入試並びに秋季入試合格者 ・在学採用 4月上旬 対象者 全在生 《採用人員（令和4年度実績）》《貸与額（月額）》
	第二種奨学金 ・有利子	【入学時特別増額貸与】 1年次において、第一種または、第二種奨学金の貸与を受ける方で、希望者は所定の手続きにより交付初回のみ増額して貸与を申込みことができます。（10万円・20万円・30万円・40万円・50万円から選択）	・第一種奨学金 修士課程・博士課程前期 78名…（5万円・8万8千円） 博士課程後期 6名…（8万円・12万2千円） 博士課程 2名…（8万円・12万2千円） ・第二種奨学金 修士課程・博士課程前期 6名 博士課程後期 2名 博士課程 2名
	緊急奨学金 （第一種）/無利子 応急奨学金 （第二種）/有利子	家計の急変（主たる家計支持者が失職、破産、事故、病気若しくは死亡又は、火災、風水害の災害等）で奨学金を緊急・応急に必要とする場合（但し、事由発生から1年以内。）に申込みことができます。	【全課程共通】 （5万円・8万円・10万円・13万円・15万円）

上記の内容で不明な点等があれば、学生課奨学金担当に相談してください。

◇ （修士課程・博士課程前期進学予定者対象）特に優れた業績による返還免除内定制度

大学院では、大学院在学中に日本学生支援機構第一種奨学金の貸与を受けた学生が、奨学金の貸与期間中に特に優れた業績を挙げたと認められる場合には、貸与奨学金の全額又は半額の返還が免除される、返還免除制度があります。

令和5年度より、修士課程（博士課程前期）へ進学を予定している学部生等を対象に、修学に係る経済的不安を早期に解消し、進学へのインセンティブを高めることを目的に「返還免除内定制度」が創設されました。

本制度への申請を希望する場合は、大学院入学前に申請手続が必要です。対象者の条件や申請手続を記載した募集要項は「大学院個別サイト」（<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>）に掲載いたします。昨年度は1月上旬に掲載しておりますが、掲載時期は早まる可能性があります。

本制度について不明な点等があれば、大学院事務課奨学金担当へお問い合わせください。

【（参考）日本学生支援機構ホームページ】

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/tetsuduki/syushinaitei.html>

※博士課程後期・博士課程進学者を対象とした返還免除内定制度については、入学後に募集を行いますので、対象者へ個別にお知らせいたします。

◇ T・A 制度

本学には、大学院教育の活性化を図るためにティーチング・アシスタント（T・A）制度を設けています。T・A採用者には手当が支給されます。

※ T・A 制度に関する問い合わせ先：大学院事務課

薬学研究科健康薬科学専攻の授業科目・単位・履修方法等の概要

(1) 専修部門・専修授業科目・専門分野・指導教員・指導教員研究領域

専修部門	専修授業科目	単位	専門分野	指導教員	研究領域
医薬品素材学	医薬品素材学演習 医薬品素材学特別実験	6 12	薬化学	教授 丸岡 博	医薬品のリード化合物創出に関する研究
				准教授 益本 英一	生物活性を有する新規ヘテロ環化合物の創製に関する研究
			医薬品化学	講師 古舘 信	医薬品候補化合物の探索
				生薬学	教授 大川 雅史
教授 金城 順英	細胞培養法を用いた植物成分の機能解析				
生体分子情報学	生体分子情報学演習 生体分子情報学特別実験	6 12	生化学	教授 本田伸一郎	遺伝子発現制御と核内高次構造に関する研究
				准教授 小迫 知弘	造血器腫瘍の新規予防・治療法に関する研究
			衛生化学	教授 松末 公彦	生活習慣病の発症と核内受容体の機能に関する研究
				講師 藍原 大甫	食品・環境中の化学物質と疾病に関する研究
			微生物薬品化学	教授 鹿志毛信広	腸内細菌における遺伝子発現およびその制御機構の解明
教授 佐藤 朝光	蚊媒介性疾患の予防に関する研究				
生体分析学	生体分析学演習 生体分析学特別実験	6 12	薬品分析学	教授 能田 均	生体分子間相互作用の光解析ツールの開発と応用
				教授 吉田 秀幸	生理活性物質・環境負荷物質の超微量分析法開発
			機器分析学	教授 巴山 忠	生体関連分子の新規分析法開発とその応用
				薬品物理化学	教授 池田 浩人
			准教授 堤 広之		分子複合体形成に関する研究
薬理学	薬理学演習 薬理学特別実験	6 12	臨床疾患薬理学	教授 岩崎 克典	認知症の発症機序と治療薬開発に関する薬理学的研究
				教授 桂林秀太郎	神経疾患の発症機序に関する神経薬理学的機能解析
			生体機能制御学	教授 三島 健一	嗜好性の発現機序の解明と食素材の有効性の検証
				准教授 佐野 和憲	ミスフォールディング病に関する研究
分子医学	分子医学演習 分子医学特別実験	6 12	免疫・分子治療学	教授 石橋 大輔	感染症やがん疾患の克服を目指した研究
				准教授 細川 雅人	神経変性疾患の病態機序解明と根本的治療法の開発
			臨床薬物治療学	教授 遠城寺宗近	肝疾患の病態解析とそれに基づく治療法の検討
				教授 大江 賢治	各種癌に対するスプライシング操作化合物の有効性に関する研究
薬剤学	薬剤学演習 薬剤学特別実験	6 12	応用薬剤学	教授 道具 伸也	病態下における血液脳関門の機能変化解析とその予防・予測法の開発
				准教授 高田美友子	薬物動態の病的変動と副作用・ベリサイト制御と脳神経血管機構の病態改善
			薬学疾患管理学	教授 山内 淳史	薬物有害作用の発現機序解明と回避対策の構築
				准教授 中川 慎介	血液脳関門の機能制御および機能障害に関する研究
創剤学	創剤学演習 創剤学特別実験	6 12	創剤学	教授 松永 和久	医薬品の新規創剤設計及びその応用研究
				講師 瀬戸口修一	新規製剤及び製剤材料の創出と物性解析
			薬物送達学	准教授 古賀 允久	DDSによる薬物送達と有害作用の回避に関する研究
				准教授 樋川 舞	次世代創薬のための薬物送達システムに関する研究
医薬品設計学	医薬品設計学演習 医薬品設計学特別実験	6 12	医薬品情報学	教授 右田 啓介	抗悪性腫瘍薬が誘発する感覚障害に関する情報解析および発現機序解明
実務薬剤学	実務薬剤学演習 実務薬剤学特別実験	6 12	病院薬学	教授 今給黎 修	副作用情報収集におけるアウトカム評価に関する研究
				教授 緒方憲太郎	抗悪性腫瘍薬の適正使用に関する研究
				教授 神村 英利	医薬品適正使用に関する研究
			救急・災害医療薬学	教授 江川 孝	在宅医療を基盤とした災害医療に関する研究
				准教授 林 稔展	微量分析技術を応用した抗がん薬曝露に関する研究
			腫瘍・感染症薬学	教授 松尾 宏一	抗がん薬による副作用の評価と軽減に関する研究
地域医療薬学	准教授 富永 宏治	副作用回避対策と予測に関する研究			

※令和5年4月現在の専修授業科目及び指導教員です。

(2) 選択授業科目

授業科目	単位	授業科目	単位
薬学概論	2	治験・臨床開発特論	2
創薬科学特論	2	医療コミュニケーション学特論	2
先端創薬科学トピック特論	2	先端医療トピック特論	2
生命科学トピック特論	2	医薬品情報学特論	2
最新薬物治療学特論	2	疾患薬理学特論	2
感染症特論	2	環境科学トピック特論	2

(3) 授業科目の履修方法

- 1 学生の標準修業年限は2年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得しなければならない。
- 2 学生は、必修科目として専修授業科目のうち、同一の演習及び特別実験を選定し、履修しなければならない。また、選択授業科目については、指導教員（専修授業科目の演習担当の教員）と相談し、12単位以上となるように科目を選定し、専修授業科目と併せて30単位以上を履修しなければならない。
- 3 学生は、授業科目の選定のほか、修士論文の作成、その他研究一般について、指導教員の指導に従うものとする。
- 4 履修した科目（30単位以上）を修得し、かつ、指導教員から必要な研究指導を受けたうえ、専修授業科目についての修士論文審査及び最終試験に合格することによって本課程の修了とする。

(4) 授業時間

本専攻は、大学院設置基準第2条の2による専ら夜間において教育を行います。

※ 専修授業科目および指導教員・選択授業科目は、令和5年5月1日現在において開講が予定されているものであり、令和6年度のカリキュラムは今後一部改正される可能性があります。これからの予定について知りたい場合は、研究科長または学務委員（10頁参照）にご相談ください。

(5) 専修部門指導教員 内線番号

専修部門	専門分野	指導教員	内線番号	備考
医薬品素材学	薬化学	教授 丸岡 博	6617	
		准教授 益本 英一	6633	
	医薬品化学	講師 古館 信	6626	
	生薬学	教授 大川 雅史	6611	
		教授 金城 順英	6625	
生体分子情報学	生化学	教授 本田伸一郎	6616	学務委員
		准教授 小迫 知弘	6604	
	衛生化学	教授 松末 公彦	6639	
		講師 藍原 大甫	6614	
	微生物薬品化学	教授 鹿志毛信広	6612	
		教授 佐藤 朝光	6660	
生体分析学	薬品分析学	教授 能田 均	6619	
		教授 吉田 秀幸	6618	
	機器分析学	教授 巴山 忠	6635	
	薬品物理化学	教授 池田 浩人	6622	
		准教授 堤 広之	6620	
薬理学	臨床疾患薬理学	教授 岩崎 克典	6665	薬学研究科長
		教授 桂林秀太郎	6634	
	生体機能制御学	教授 三島 健一	6657	
		准教授 佐野 和憲	6681	
分子医学	免疫・分子治療学	教授 石橋 大輔	6645	
		准教授 細川 雅人	6647	
	臨床薬物治療学	教授 遠城寺宗近	6694	
		教授 大江 賢治	6696	
薬剤学	応用薬剤学	教授 道具 伸也	6666	
		准教授 高田芙友子	6847	
	薬学疾患管理学	教授 山内 淳史	6637	
		准教授 中川 慎介	6630	
創剤学	創剤学	教授 松永 和久	6672	
		講師 瀬戸口修一	6692	
	薬物送達学	准教授 古賀 允久	6840	
		准教授 樋川 舞	6662	
医薬品設計学	医薬品情報学	教授 右田 啓介	6641	
実務薬剤学	病院薬学	教授 今給黎 修	※①	
		教授 緒方憲太郎	※②	
		教授 神村 英利	※③	
	救急・災害医療薬学	教授 江川 孝	6668	
		准教授 林 稔展	6648	
	腫瘍・感染症薬学	教授 松尾 宏一	6688	
	地域医療薬学	准教授 富永 宏治	6687	

・福岡大学 代表電話番号 (092) 871-6631

・福岡大学病院 代表電話番号 (092) 801-1011

・福岡大学筑紫病院 代表電話番号 (092) 921-1011

※①福岡大学筑紫病院薬剤部長室（内線 1300）または 薬学部内教授室（内線 6686）

※②福岡大学病院薬剤部（内線 2225）または 薬学部内教授室（内線 6673）

※③福岡大学病院薬剤部長室（内線 2213）または 薬学部内教授室（内線 6690）

薬学研究科薬学専攻博士課程の概要

福岡大学大学院薬学研究科は、6年制薬学部に基づき、標準修業年限が4年の博士課程を開設しています。その目的及び教育内容は下記のとおりです。

1 人材養成及び教育研究上の目的

薬学研究科は、薬学に関する学術の理論及び応用を教授・研究し、その深奥を究めて、広く医療の進展に寄与することを理念とする。

博士課程の薬学専攻においては、医療現場における様々な課題に迅速かつ適切に対応できる高度な専門知識と優れた研究能力を備えた薬剤師の養成を目的とする。この目的に基づき、医療の現場における臨床的な課題を対象とする研究領域を中心とした臨床薬学・医療薬学に関する教育プログラムを展開することにより、高度な専門性や優れた研究能力を有する高度化医療に対応できる薬剤師の養成を行う。併せて、生命科学、創薬科学に関する教育プログラムを展開することにより、医療に関する深い知識と問題解決能力を有する薬学研究者及び教育者の養成を行う。

2 教育内容

本専攻は、医療薬剤師プログラム及び薬学研究者プログラムの2プログラムで構成されている。医療薬剤師プログラムでは、個別化医療推進薬剤師、医療系薬学教育者、医療行政推進薬剤師、トランスレーショナルリサーチ推進研究者・技術開発者、レギュラトリーサイエンス研究者等の人材育成を目指している。薬学研究者プログラムでは、創薬研究、薬物治療の最適化などに従事する医療系薬学研究者、基礎系薬学教育者、健康科学、環境衛生化学等研究者・行政担当者、製薬企業研究開発従事者等の人材育成を目指している。

両プログラムとも臨床マインドおよび研究マインドを醸成し、医療と創薬科学をつなぐ担い手となりうる薬剤師・薬学研究者を育成するために下記のように教育課程を編成している。

1. 基礎的実験の原理、手技を修得し、研究の全体像と科学的思考法を体得できる基礎実習科目を配置
2. 高度な知識と情報基盤を形成するために、ひとつのテーマを多面的に観て考察することができるオムニバス形式の特修科目を配置
3. 専門分野における学会、研修会、講演の参加や、学会発表、学術誌への論文投稿等を通じて専門能力の向上を目指す専門力養成プログラムを配置
4. プレゼンテーション能力、英語論文の読解力および情報収集能力の形成を目指す演習科目を配置
5. 研究テーマを選定し、実験計画を立案・遂行し、成果を発表することで課題発見能力および問題解決能力を涵養する特別実験科目を配置

授業科目・履修方法等については、18～20頁「薬学研究科薬学専攻博士課程の授業科目・単位・履修方法等の概要」を参照してください。

《一般入学試験・社会人入学試験》

1 募集人員

研究科名	専攻名	課程名	標準修業年限	入学定員
薬学研究科	薬学専攻	博士課程	4年	6名

※入学定員には、専攻で実施するすべての入学試験の人員を含みます。

2 出願資格

志願者は、出願までに希望する専修科目担当者（指導教員）（18頁・20頁参照）へ事前に必ず連絡をとっておくこと。（専修科目指導教員を決めていない志願者は薬学研究科長または学務委員に事前に相談すること。）

《一般入学試験》	《社会人入学試験》
<p>次の各号のいずれかの条件に該当する者</p> <p>① 大学（医学、歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程）を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者</p> <p>② 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程）を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程）を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者</p> <p>⑤ 外国の大学その他の外国の学校*¹）において、修業年限が5年以上である課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程）を修了すること*²）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者</p> <p>* 1) その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。</p> <p>* 2) 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。</p> <p>⑥ 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者で本研究科において、大学の薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者</p> <p>⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達したものと及び令和6年3月までに達するもの^(注)</p>	<p>次のいずれかの条件に該当する者で、大学・研究所・各種公共団体・企業・病院などにおいて研究、教育及び技術職としての職歴が1年以上（出願時点）の社会的経験を有する者</p> <p>① 大学（医学、歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程）を卒業した者</p> <p>② 外国において、学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程）を修了した者</p> <p>③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程）を修了した者</p> <p>④ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程）を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者</p> <p>⑤ 外国の大学その他の外国の学校*¹）において、修業年限が5年以上である課程（最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程）を修了すること*²）により、学士の学位に相当する学位を授与された者</p> <p>* 1) その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。</p> <p>* 2) 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。</p> <p>⑥ 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者で本研究科において、大学の薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者</p> <p>⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達したものと及び令和6年3月までに達するもの^(注)</p>
<p>(注) 出願資格⑦の条件は、「大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生その他の教育施設の修了者」であること</p>	

- ◆ 左記出願資格⑥⑦に該当する出願者は出願資格審査（書類審査と筆記試験）を行います。下記のとおり審査に要する書類を提出してください。
- ◇書類提出期間：秋季志願者 令和5年7月10日（月）～7月12日（水）
 春季志願者 令和5年12月4日（月）～12月6日（水）
 午前10時～午後4時（正午～午後1時を除く）
 郵送の場合は、書留郵便とし、受付最終日までに必着のこと。
 封筒の表には、「薬学研究科出願書類在中」と朱書きしてください。
- ◇提出書類
- ① 志願票・履歴書（本学所定用紙）
 職歴は、詳しく記入してください。
 業績がある者は記入してください。業績とは、「著書、研究論文、学会発表、特許、専門性実務経験等」
 資格保有者は、その証明書の写しを添付してください。
 - ② 最終卒業（修了）学校の卒業証明書及び成績証明書
 - ③ 志望動機と目的（任意の様式）
 400字以上、A4縦長・横書き（上部に、志願者の氏名と志望する専修科目及び指導教員を記入すること）
- ◇出願資格審査日時：追って本人宛に通知します。
- ◇審査結果：審査の結果は、本人宛に通知します。審査に合格し受験が認められた者は、入学検定料を納入し、残る出願提出書類を受付期間遵守のうえ提出してください。

3 入学試験日・願書受付期間

秋季（1回）と春季（1回）の2回実施します。

募集区分	入学試験日	願書受付期間
秋季入学試験	令和5年9月12日（火）	令和5年8月22日（火）～8月24日（木）
春季入学試験	令和6年2月14日（水）	令和6年1月15日（月）～1月18日（木）

4 出願手続

(1) 提出書類その他

《一般入学試験》	《社会人入学試験》
①志願票・履歴書（本学所定用紙） ②副票・受験票（本学所定用紙） ③最終出身大学等の成績証明書 ④最終出身大学等の卒業証明書または卒業見込証明書 ⑤入学検定料領収書（大学提出） ⑥住所シート（本学所定用紙）	①志願票・履歴書（本学所定用紙） ②副票・受験票（本学所定用紙） ③最終出身大学等の成績証明書 ④最終出身大学等の卒業証明書 ⑤職務実績書（本学所定用紙） ⑥推薦書（任意の様式） （所属機関等の所属長または出身大学の指導教員もしくはそれに準ずる者が作成したもの（宛名：福岡大学大学院薬学研究科長）） ⑦受験及び就学承諾書（本学所定用紙） （入学後の在職のまま就学するもののみ） （※本学職員の場合、事前に大学院事務課まで相談してください。） ⑧入学検定料領収書（大学提出） ⑨住所シート（本学所定用紙）
注1：12頁の出願資格③・⑤に該当する者で、上記書類のうち提出不可能なものがある場合には、事前に大学院事務課へ相談してください。 注2：出願資格によっては、上記以外の書類の提出をお願いすることがあります。 注3：改姓がある場合は、戸籍抄本等をつけてください。 証明書は1年以内に発行されたもの。	

(2) 入学検定料の納入方法

入学検定料	32,000円
-------	---------

入学検定料は、最寄の金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）から本学所定の「振込用紙」に記載した指定金融機関宛に振り込んでください。なお、振込みの際に受取った「入学検定料領収書（大学提出）」を、指定の入学検定料領収書貼付台紙に貼って、他の出願書類とともに提出してください。

（注）自動振込機（ATM）から振込みを行う場合は、氏名の前に「振込用紙」の「整理番号」を必ずご入力ください。振込みを証明できるもの（利用明細票の写し）を指定の入学検定料領収書貼付台紙に貼って提出してください。

（注）インターネットバンキングによる振込みは受付できません。

(3) 出願上の注意

- ① 該当する出願資格に記載された条件の内容を必ず確認してください。
- ② 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。
- ③ 志願票の志望専修科目欄には、18頁の「(1) 専修部門・専修科目・専門分野・指導教員・指導教員研究領域」から、【専修部門】・【専門分野】・【指導教員】を選択し、記入してください。なお、出願前に必ず志望専修科目担当者（指導教員）に事前に連絡をとってください。
- ④ 一度払い込まれた入学検定料及び提出した書類（論文含む）の返還請求には応じません。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑥ 健康の状況について
疾病・障がい等により、受験時および修学上配慮を必要とされる方は、出願前のできるだけ早い時期に大学院事務課へ相談ください。（症状についての具体的内容が記載された診断書を添えてください。障害者手帳をお持ちの方は、そのコピーも添えてください。）

5 出願受付時間・場所

- ① 受付時間
午前10時～午後4時（正午～午後1時を除く）
- ② 受付場所・問合せ先
福岡大学大学院事務課（福岡大学中央図書館6階）
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL (092) 871-6631 内線 2913～2916

* 郵送の場合は、書留郵便とし受付最終日までに必着とします。
封筒の表には、「薬学研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

6 受 験 票

- ① 出願手続完了者には、「受験票」を送付します。
- ② 試験日の5日前までに到着しない場合は連絡してください。
- ③ 「受験票」は入学手続完了まで保管してください。

7 試験場・試験会場

福岡市城南区七隈八丁目19番1号 福岡大学 内

* 試験会場については、試験当日の午前8時30分に中央図書館西側1階入口（大学院エントランス）に掲示します。

* 受験者は全員午前9時までに試験会場に集合してください。

8 試験科目・試験時間

	《一般入学試験》	《社会人入学試験》
9:00 }	受験上の注意	受験上の注意
9:15 }	英語	小論文
10:45		
	専門科目(2科目)	専門科目
11:00 }	◆下記17科目より2科目選択 ・救急・災害医療薬学／腫瘍・感染症薬学 ・病院薬学 ・免疫・分子治療学 ・臨床薬物治療学 ・医薬品情報学 ・応用薬剤学／薬学疾患管理学 ・創剤学／薬物送達学 ・臨床疾患薬理学 ・生体機能制御学 ・生化学 ・衛生化学 ・微生物薬品化学 ・薬品分析学 ・機器分析学 ・薬品物理化学 ・薬化学 ・生薬学	(免除)
12:30 }		
15:00 }	面接 (口頭試問)	面接 (口頭試問)

◆英語の受験には辞書(1冊)、専門科目の受験には電卓の持込みを許可します。

9 合格発表

① 合格発表日時

秋季入学試験 合格発表	令和5年10月2日(月)午前10時
春季入学試験 合格発表	令和6年3月4日(月)午前10時

② 合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者へは入学手続書類を郵送(簡易書留)します。不合格者への通知はいたしません。

◇掲示場所: 大学院事務課前(福岡大学内中央図書館6階)

③ 福岡大学公式ホームページ内の「大学院個別サイト」(<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載いたします。

④ 合否に関する電話による問合せには一切応じません。

10 入 学 手 続

- ※ 入学手続書類等の詳細な指示は、合格通知とともに通知します。
- ※ 入学申込金・授業料その他諸納入金の納入については、「(1) 入学に要する経費等」の学費等納入金表を参照してください。
- ※ 入学手続書類等に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消すことがあります。

(1) 入学に要する経費等（博士課程）

学 費 等 納 入 金 表

(単位：円)

項 目		区 分	本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了	備 考
入学時 納入金	入学申込金（入学金）		120,000	0	120,000	入学年度のみ納入
	第 一 期 分 学費等納入金	第一期分授業料	280,000	280,000	280,000	毎年度納入
		第一期分教育充実費	70,000	70,000	70,000	
		委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
		（小計）	353,000	353,000	368,100	
計		473,000	353,000	488,100		
第二期 払込分	第 二 期 分 学費等納入金	第二期分授業料	280,000	280,000	280,000	毎年度納入
		第二期分教育充実費	70,000	70,000	70,000	
	計		350,000	350,000	350,000	
初年度納入金 合計			823,000	703,000	838,100	

◆上記合計金額のうち、「入学申込金」及び「第一期分学費等納入金」として、下記の金額を所定の期日までに納入してください。（納入期限当日の収納日付印まで有効）

費 目	本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了
入 学 申 込 金	120,000	0	120,000
	◇納入期限：秋季入学試験合格者 春季入学試験合格者		令和5年10月17日（火） 令和6年3月13日（水）
第 一 期 分 学 費 等 納 入 金	353,000	353,000	368,100
	◇納入期限：秋季入学試験合格者・春季入学試験合格者ともに 令和6年3月21日（木）		

※納入期限後はいかなる理由があっても受け付けできません。

※所定の期限までにこれらの手続きを完了してください。

※二年次以降の学費等納入金のうち、「委託徴収金」の金額には多少の変動が生じることがあります。

(2) 入学辞退について

- ① 合格発表後に入学を辞退する場合は『入学辞退届』を提出してください。
- ② 入学手続き終了後に入学を辞退する場合は『入学辞退届』を提出した方に限り、入学申込金（入学金）を除く第一期分学費等納入金を返還いたします。

11 そ の 他

◇ 既修得単位認定制度

本学大学院に入学する前に他の大学院（外国を含む。）において履修した授業科目について修得した単位は、当該研究科通常委員会の議を経て、15単位を超えない範囲で本学の大学院における授業科目の履修により修得したものとして認めることがあります。希望者は、申請条件や申請時期等について、出願前に大学院事務課へご確認ください。

◇ 奨学金制度

- ・日本学生支援機構奨学金と地方公共団体、民間団体が実施している奨学制度があり、広く活用しています。
これらの奨学金には、返還義務のある「貸与型奨学金」や返還義務のない「給付型奨学金」があり、条件もそれぞれ異なっていますので、事前の確認を忘れないようにしてください。
- ・募集・案内等は、内容に応じて大学院事務課前・中央・各学部事務室の掲示板およびF Uポータルで行います。担当窓口は、学生課の奨学金窓口です。

【貸与型奨学金例（返還義務のあるもの）】

種類	詳	細	
日本学生支援機構の奨学金	<p>第一種奨学金 ・無利子 ・返還免除制度あり</p>	<p>人物、学業ともに優れ、経済的理由によって修学困難な学生に対し、日本学生支援機構から貸与される制度です。貸与期間は標準修業年限内です。 なお、収入基準額は、学部学生は家計支持者の収入額ですが、大学院生は本人の収入額です。</p>	<p>《募集時期》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予約採用 11月中旬（予定） 対象者 推薦入試並びに秋季入試合格者 ・在学採用 4月上旬 対象者 全在学生
	<p>第二種奨学金 ・有利子</p>	<p>【入学時特別増額貸与】 1年次において、第一種または、第二種奨学金の貸与を受ける方で、希望者は所定の手続きにより交付初回のみ増額して貸与を申込みることができます。（10万円・20万円・30万円・40万円・50万円から選択）</p>	<p>《採用人員（令和4年度実績）》《貸与額（月額）》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一種奨学金 <ul style="list-style-type: none"> 修士課程・博士課程前期 78名…（5万円・8万8千円） 博士課程後期 6名…（8万円・12万2千円） 博士課程 2名…（8万円・12万2千円） ・第二種奨学金 <ul style="list-style-type: none"> 修士課程・博士課程前期 6名 博士課程後期 2名 博士課程 2名 <p>【全課程共通】 （5万円・8万円・10万円・13万円・15万円）</p>
	<p>緊急奨学金 （第一種）/無利子 応急奨学金 （第二種）/有利子</p>	<p>家計の急変（主たる家計支持者が失職、破産、事故、病気若しくは死亡又は、火災、風水害の災害等）で奨学金を緊急・応急に必要とする場合（但し、事由発生から1年以内。）に申込みことができます。</p>	

上記の内容で不明な点等があれば、学生課奨学金担当に相談してください。

◇ T・A制度

本学には、大学院教育の活性化を図るためにティーチング・アシスタント（T・A）制度を設けています。T・A採用者には手当が支給されます。

※ T・A制度に関する問い合わせ先：大学院事務課

薬学研究科薬学専攻の授業科目・単位・履修方法等の概要

(1) 専修部門・専修科目・専門分野・指導教員・指導教員研究領域

専修部門	専修科目	単位	専門分野	指導教員	研究領域
臨床副作用学	臨床副作用学演習 臨床副作用学特別実験	6 12	救急・災害医療薬学	教授 江川 孝	医薬品による有害反応の機序解明と副作用の早期予測・回避に関する研究
			腫瘍・感染症薬学	教授 松尾 宏一	抗がん薬による副作用の評価と軽減に関する研究
臨床薬剤学	臨床薬剤学演習 臨床薬剤学特別実験	6 12	病院薬学	教授 今給黎 修	医薬品の適正使用に関する研究
				教授 緒方憲太郎	抗悪性腫瘍薬の適正使用と副作用マネジメントに関する研究
				教授 神村 英利	医薬品の適正使用・至適投与法に関する研究
臨床薬物治療学	臨床薬物治療学演習 臨床薬物治療学特別実験	6 12	免疫・分子治療学	教授 石橋 大輔	難治性疾患の病態解明と治療法開発のための基盤構築に関する研究
			臨床薬物治療学	教授 遠城寺宗近	肝臓病および脂質代謝における基礎・臨床研究
				教授 大江 賢治	各種癌に対するスプライシング操作化合物の有効性に関する研究
医薬品情報学	医薬品情報学演習 医薬品情報学特別実験	6 12	医薬品情報学	教授 右田 啓介	医薬品や疾患による中枢神経系の変性に関する情報解析および発現機序解明
薬学疾患管理学	薬学疾患管理学演習 薬学疾患管理学特別実験	6 12	応用薬剤学	教授 道具 伸也	脳神経血管機構の是正を基盤とした中枢神経疾患の薬物治療最適化
			薬学疾患管理学	教授 山内 淳史	有害作用の薬学的管理に関する薬物動態学および薬力学的研究
製剤設計学	製剤設計学演習 製剤設計学特別実験	6 12	創剤学	教授 松永 和久	医薬品の新規製剤設計及びその応用研究
			薬物送達学	(担 当 者 未 定)	
臨床疾患薬理学	臨床疾患薬理学演習 臨床疾患薬理学特別実験	6 12	臨床疾患薬理学	教授 岩崎 克典	生活習慣病要因を併せ持つアルツハイマー病遺伝子改変動物を用いた行動薬理学的研究
				教授 桂林秀太郎	神経疾患の治療に寄与するグリア創薬研究
病態機能解析学	病態機能解析学演習 病態機能解析学特別実験	6 12	生体機能制御学	教授 三島 健一	神経疾患の病態解明と個別化医療に関する研究
臨床生化学	臨床生化学演習 臨床生化学特別実験	6 12	生化学	教授 本田伸一郎	シグナル伝達分子・転写調節因子による遺伝子発現制御に関する研究
			衛生化学	教授 松末 公彦	核内受容体の生理機能および疾病発症との関連性の解明
			微生物薬品化学	教授 鹿志毛信広	遺伝子組換え腸内細菌による粘膜免疫制御
				教授 佐藤 朝光	蚊媒介性疾患の予防に関する研究
臨床医薬品解析学	臨床医薬品解析学演習 臨床医薬品解析学特別実験	6 12	薬品分析学	教授 能田 均	光分析を基盤とした生体機能解析ツールの創製とその臨床化学的応用研究
				教授 吉田 秀幸	生体関連物質を対象とした高感度・高選択的計測法の開発と臨床応用研究
			機器分析学	教授 巴山 忠	バイオアナリシス手法の新規開発と臨床的実用化への応用
			薬品物理化学	教授 池田 浩人	ホスト-ゲスト相互作用を基盤とした分子物性修飾機構の解析
臨床医薬品化学	臨床医薬品化学演習 臨床医薬品化学特別実験	6 12	薬化学	教授 丸岡 博	創薬を指向したリード化合物創製に関する研究
			生薬学	教授 大川 雅史	天然由来抗酸化物質がもつ多面的な機能の解析
				教授 金城 順英	細胞培養法を用いた植物成分の機能解析

※ 令和5年4月現在の専修授業科目及び指導教員です。

(2) 基礎実習・担当教員

実習科目	単位	担当教員（オムニバス方式）
実務薬剤学実習	2	（コーディネーター）江川 孝 今給黎 修，緒方 憲太郎，神村 英利，松尾 宏一，林 稔展 計6名
薬剤学実習	2	（コーディネーター）松永 和久 古賀 允久，中川 慎介，樋川 舞，瀬戸口 修一 計5名
医薬品情報学実習	2	（コーディネーター）右田 啓介 道具 伸也，山内 淳史 計3名
薬理学実習	2	（コーディネーター）岩崎 克典 桂林 秀太郎，三島 健一，佐野 和憲 計4名
バイオ実習	2	（コーディネーター）鹿志毛 信広 石橋 大輔，遠城寺 宗近，大江 賢治，佐藤 朝光，細川 雅人 計6名
生化学実習	2	（コーディネーター）本田 伸一郎 松末 公彦，小迫 知弘，藍原 大甫 計4名
医薬品合成実習	2	（コーディネーター）丸岡 博 大川 雅史，金城 順英，益本 英一，古館 信 計5名
医薬品分析実習	2	（コーディネーター）能田 均 池田 浩人，巴山 忠，吉田 秀幸，堤 広之 計5名

※令和5年4月現在の実習科目及び担当教員です。

(3) 特修科目・担当教員

特修科目	単位	担当教員（オムニバス方式）
最新薬剤学特論	2	（コーディネーター）山内 淳史 道具 伸也，高田 美友子，瀬戸口 修一 計4名
医薬品管理・情報学特論	2	（コーディネーター）右田 啓介 神村 英利，松永 和久，古賀 允久，中川 慎介，林 稔展 計6名
臨床開発薬学特論	2	（コーディネーター）江川 孝 今給黎 修，緒方 憲太郎，松尾 宏一，林 稔展 計5名
先端薬理学特論	2	（コーディネーター）岩崎 克典 遠城寺 宗近，大江 賢治，桂林 秀太郎，三島 健一，佐野 和憲 計6名
先端生命科学特論	2	（コーディネーター）本田 伸一郎 石橋 大輔，鹿志毛 信広，佐藤 朝光，右田 啓介，小迫 知弘， 細川 雅人，藍原 大甫 計8名
創薬科学特論	2	（コーディネーター）丸岡 博 大川 雅史，金城 順英，吉田 秀幸，益本 英一，古館 信 計6名
レギュラトリーサイエンス特論	2	（コーディネーター）能田 均 池田 浩人，大江 賢治，大川 雅史，道具 伸也，巴山 忠， 松末 公彦，堤 広之，林 稔展 計9名

※令和5年4月現在の特修科目及び担当教員です。

(4) 専門力養成プログラム・評価教員

専門力養成プログラム	単位	評価教員
医療薬剤師養成プラン	4	（責任者）岩崎 克典〈研究科長〉 本田 伸一郎〈学務委員〉 計2名
薬学研究者養成プラン	4	

※令和5年4月現在の評価教員です。

(5) 授業科目の履修方法

1. 学生の標準修業年限は4年とし、所定の授業科目について、合計30単位以上を修得しなければならない。
2. 学生は、1専修部門（演習・特別実験）を選定し、これをその学生の専修科目とする。その他の科目については、指導教員（専修科目担当の教員）及び研究科長と相談し、基礎実習（2単位以上）を選択し、これに特修科目及び専門力養成プログラムをあわせて12単位以上となるように選定し、専修科目とあわせて30単位以上を履修するものとする。
3. 学生は、授業科目の選定のほか、博士の学位論文の作成、その他研究一般について指導教員の指導に従うものとする。
4. 履修した科目（30単位以上）を修得し、かつ指導教員から必要な研究指導を受けた上、博士の学位論文及び最終試験に合格することによって本課程の修了とする。

(6) 専修部門指導教員 内線番号

専修部門	専門分野	指導教員	内線番号	備考
臨床副作用学	救急・災害医療薬学	教授 江川 孝	6668	
	腫瘍・感染症薬学	教授 松尾 宏一	6688	
臨床薬剤学	病院薬学	教授 今給黎 修	※①	
		教授 緒方憲太郎	※②	
		教授 神村 英利	※③	
臨床薬物治療学	免疫・分子治療学	教授 石橋 大輔	6645	
	臨床薬物治療学	教授 遠城寺宗近	6694	
		教授 大江 賢治	6696	
医薬品情報学	医薬品情報学	教授 右田 啓介	6641	
薬学疾患管理学	応用生物学	教授 道具 伸也	6666	
	薬学疾患管理学	教授 山内 淳史	6637	
製剤設計学	創剤学	教授 松永 和久	6672	
臨床疾患薬理学	臨床疾患薬理学	教授 岩崎 克典	6665	薬学研究科長
		教授 桂林秀太郎	6634	
病態機能解析学	生体機能制御学	教授 三島 健一	6657	
臨床生化学	生化学	教授 本田伸一郎	6616	学務委員
	衛生化学	教授 松末 公彦	6639	
	微生物薬品化学	教授 鹿志毛信広	6612	
		教授 佐藤 朝光	6660	
臨床医薬品解析学	薬品分析学	教授 能田 均	6619	
		教授 吉田 秀幸	6618	
	機器分析学	教授 巴山 忠	6635	
	薬品物理化学	教授 池田 浩人	6622	
臨床医薬品化学	薬化学	教授 丸岡 博	6617	
	生薬学	教授 大川 雅史	6611	
		教授 金城 順英	6625	

・福岡大学 代表電話番号 (092) 871-6631

・福岡大学病院 代表電話番号 (092) 801-1011

・福岡大学筑紫病院 代表電話番号 (092) 921-1011

※①福岡大学筑紫病院薬剤部長室（内線1300）または 薬学部内教授室（内線6686）

※②福岡大学病院薬剤部（内線2225）または 薬学部内教授室（内線6673）

※③福岡大学病院薬剤部長室（内線2213）または 薬学部内教授室（内線6690）

博士課程《外国人留学生入学試験》

留学生対象進学説明会

詳細が決まりましたら、福岡大学公式ホームページ内の「大学院個別サイト」
(<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>)へ掲載します。

- ◇国内志願者とは、既に日本国に在留している志願者をいう。
◇国外志願者とは、受験のために外国から日本国に来る志願者をいう。

1 募集人員

12頁を参照してください。

2 出願資格

《博士課程》

次の各号のいずれかの条件に該当する者で、※印の要件を満たす者

- ① 大学(医学、歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程)を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
 - ② 外国において、学校教育における18年の課程(最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程)を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程)を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程)を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月までに修了見込みの者
 - ⑤ 外国の大学その他の外国の学校^{*1)}において、修業年限が5年以上である課程(最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程)を修了すること^{*2)}により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者
- *1) その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
*2) 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。
- ⑥ 修士課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者で本研究科において、大学の薬学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
 - ⑦ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で24歳に達したものと及び令和6年3月までに達するもの^(注)

※在学中の経費支弁能力のある者

※日本語で講義・研究指導を受ける者は、指定された日本語能力がある者

※注) 出願資格⑥⑦に該当し出願を希望する者は、第一次選考(書類審査及び出願資格審査)において資格審査を行います。

◇出願資格⑦の条件

大学・短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生、その他の教育施設の修了者であること。

3 入学試験日及び願書(第1次選考書類)受付期間

募 集 区 分			試 験 日	願書受付期間
課 程	季 別	対 象 者		
博士課程	春 季 入学試験	国外志願者	令和6年2月14日(水)	随時受付(平日のみ) ＜最終締切日＞ 令和5年10月31日(火)
		国内志願者		令和5年12月4日(月) ～12月6日(水)

4 出 願 手 続

(1) 提出書類その他

以下の事項に注意し、必要書類を提出してください。

- * 提出書類は、出願資格及び「国内志願」、「国外志願」により異なります。該当する「出願資格」欄の○印の書類をすべて提出してください。なお、必要に応じ、その他の書類提出を求める場合があります。
- * 本人が記入する書類は、特に指定のない限りすべて日本語で記入してください。
- * 提出書類は、写しを許可されたもの以外、すべて本書を提出してください。(コピーは受けません。)写しを要するものは、受付時に大学院事務課で写しをとり、本書は返却いたします。
- * 証明書等は、原則として発行日から3ヶ月以内のものを提出してください。
- * 在日する親族から経費支弁を受ける場合、親族が準備する課税証明書類や住民票などは、マイナンバーの記載がないものを提出してください。
- * 母国語で作成された書類には、和文又は英文の翻訳文を添付してください。

《国内志願者》		
提 出 書 類	出 願 資 格	
	①～⑥ の志願者	⑦ の志願者
1. 志願票[外国人留学生用]・副票・受験票(本学所定用紙) 注) 出願資格⑥⑦による志願者へ ※「志願票」裏面について ・ 職歴または研究歴がある者は詳しく記入してください。 ・ 業績(著書・研究論文・学会発表・特許)がある者は「資格・賞罰等」の欄に記入し、その現物の写しも提出してください。 ・ 専門性に係る資格及び実務経験等がある者は記入してください(資格保有者は、その証明書の写しを添付)。	○	○
2. 成績証明書 ・ 出願資格①～⑤：出身大学又は出身大学院の成績証明書 ・ 出願資格⑥⑦：最終卒業又は修了学校の成績証明書 ※詳細は、29頁で確認してください。	○	○
3. 卒業・修了に関する証明 ・ 出願資格①～⑤：出身大学の卒業証明書(卒業証書でも可)又は卒業見込証明書、もしくは出身大学院の修了証明書(修了証書でも可)又は修了見込証明書 ・ 出願資格⑥⑦：最終卒業又は修了学校の卒業証明書 ※詳細は、29頁で確認してください。	○	○

4. 修士論文の内容の要旨(他大学院出身者のみ) ※日本語又は英語で書かれたもの。A4 縦長・横書き, 書式は自由。	該当者のみ	
5. 研究計画書(本学所定用紙) ※日本語で志願者本人が作成したもの。ただし, 英語での講義を希望する者は英語で可。 (パソコンで作成したものも認める。) ※1,600 字程度。(履修計画は不要)	○	○
6. 志望理由書(本学所定用紙) ※日本語で志願者本人が作成したもの。ただし, 英語での講義を希望する者は英語で可。 (パソコンで作成したものも認める。) ※志望の動機及び目的を 400 字~800 字程度にまとめてください。	○	○
7. 英語能力を証明する書類 母国語を英語としない志願者で, かつ英語での講義を希望する者は, スコア証明書を提出してください。 提出できるスコア証明書は, TOEIC L&RはTOEIC L&R公開テスト公式認定書, TOEFLはTOEFLの受験者成績表, IELTSはIELTSの成績証明書とします(福岡大学において実施されたTOEIC (IP) テストおよびTOEFL (ITP) テストの結果は有効と認めます)。 ※平成 28 年 8 月 4 日以前の TOEIC は TOEIC 公開テスト公式認定書とします。	該当者のみ	該当者のみ
8. 日本語能力証明 次の①~③で該当するいずれか1つを提出してください。 ①(財)日本国際教育支援協会又は国際交流基金が実施する「日本語能力試験」N1 または N2 レベル(2009 年以前の受験生は, 1 級または 2 級)の合格認定書 ②日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」の成績通知書 ※ただし, 過去 2 年間に於いて実施された試験のいずれかにおいて, 聴解・聴読解・読解の合計が 200 点以上の成績を得ていること。 ③上記①または②の書類提出が不可能な場合は, 「日本語能力認定書」(本学所定用紙) ※「日本語能力認定書」は日本語講師, 日本政府の在外公館員, その他適当と思われる者に記入を依頼してください。 ただし, 英語で講義を受けることを希望する者には, この条件を適用しません。	○	○
9. 経費支弁計画書(本学所定用紙)	○	○
10. 1 年分の学費・生活費の支払能力があることを証明する書類 (「経費支弁計画書」の収入を立証する書類) 次の①・②(全員提出)と③~⑥で該当するものを提出してください。 ① 志願者名義の預金残高証明書(日本円又は US ドルによるもの) ② 当該預金の過去 1 年間の入出金の経緯が明らかになる預金通帳等の現物 ※ 提出不可能な場合は, その理由書を添付してください。(A4 サイズ 書式は自由) ※ 郵送の場合は, 必要な部分の全てのページの写し ③ 「資格外活動許可書」を取得している者はその写し ④ 入学年 4 月以降に奨学金受給が決定している者は奨学金受給証明書 ⑤ 外国(本国の親族等)からの送金を受ける場合は, 送金者本人が自筆により作成した経費支弁書(本学所定用紙) ^{※注)} ⑥ 在日する親族等からの送金を受ける場合は, 送金者本人が自筆により作成した経費支弁書(本学所定用紙) ^{※注)} ※ 印鑑は実印を使用してください。 ※注) ⑤・⑥の「経費支弁書」が母国語で作成されている場合は, 和文又は英文の翻訳文を添付してください。	○	○
11. 住民票(マイナンバーの記載がないもの) ※市町村区役所発行のもので, 在留カードNo.(又は外国人登録番号)・在留資格・在留期限が明記されたもの	○	○
12. パスポート(大学院事務課で写しをとりますので, 原本を持参願います。) ※郵送の場合は, 氏名・国籍・パスポート番号・顔写真が記載されているページの写し	○	○
13. 日本国内の大学で研究歴がある者は, その証明書	該当者のみ	該当者のみ
14. 住所シート(本学所定用紙)	○	○
15. 提出書類チェックリスト(本学所定用紙)	○	○

《 国 外 志 願 者 》		
提 出 書 類	出 願 資 格	
	①～⑥ の志願者	⑦ の志願者
1. 志願票(外国人留学生用)・副票・受験票(本学所定用紙) 注) 出願資格⑥⑦による志願者へ ※「志願票」裏面について ・職歴または研究歴がある者は詳しく記入してください。 ・業績(著書・研究論文・学会発表・特許)がある者は「資格・賞罰等」の欄に記入し、その現物の写しも提出してください。 ・専門性に係る資格及び実務経験等がある者は記入してください(資格保有者は、その証明書の写しを添付)。	○	○
2. 成績証明書 ・出願資格①～⑤：出身大学又は出身大学院の成績証明書 ・出願資格⑥⑦：最終卒業又は修了学校の成績証明書 ※詳細は、29頁で確認してください。	○	○
3. 卒業・修了に関する証明 ・出願資格①～⑤：出身大学の卒業証明書(卒業証書でも可)又は卒業見込証明書、もしくは出身大学院の修了証明書(修了証書でも可)又は修了見込証明書 ・出願資格⑥⑦：最終卒業又は修了学校の卒業証明書 ※詳細は、29頁で確認してください。	○	○
4. 修士論文の内容の要旨(他大学院出身者のみ) ※日本語又は英語で書かれたもの。A4縦長・横書き、書式は自由。	該当者のみ	
5. 研究計画書(本学所定用紙) ※日本語で志願者本人が作成したもの。ただし、英語での講義を希望する者は英語で可。(パソコンで作成したものも認める。) ※1,600字程度。(履修計画は不要)	○	○
6. 志望理由書(本学所定用紙) ※日本語で志願者本人が作成したもの。ただし、英語での講義を希望する者は英語で可。(パソコンで作成したものも認める。) ※志望の動機及び目的を400字～800字程度にまとめてください。	○	○
7. 英語能力を証明する書類 母国語を英語としない志願者で、かつ英語での講義を希望する者は、スコア証明書を提出してください。 ※提出できるスコア証明書は、TOEIC L&RはTOEIC L&R公開テスト公式認定書、TOEFLはTOEFLの受験者成績表、IELTSはIELTSの成績証明書とします(福岡大学において実施されたTOEIC(IP)テストおよびTOEFL(ITP)テストの結果は有効と認めます)。 ※平成28年8月4日以前のTOEICはTOEIC公開テスト公式認定書とします。	該当者のみ	該当者のみ
8. 日本語能力証明 次の①～③で該当するいずれか1つを提出してください。 ①(財)日本国際教育支援協会又は国際交流基金が実施する「日本語能力試験」N1またはN2レベル(2009年以前の受験生は、1級または2級)の合格認定書 ②日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」の成績通知書 ※ただし、過去2年間において実施された試験のいずれかにおいて、聴解・聴読解・読解の合計が200点以上の成績を得ていること。 ③上記①または②の書類提出が不可能な場合は、「日本語能力認定書」(本学所定用紙) ※「日本語能力認定書」は日本語講師、日本政府の在外公館員、その他適当と思われる者に記入を依頼してください。 ただし、英語で講義を受けることを希望する者には、この条件を適用しません。	○	○

9. 経費支弁計画書(本学所定用紙)	○	○
<p>10. 1年分の学費・生活費の支払能力があることを証明する書類 (「経費支弁計画書」の収入を立証する書類) 次のi～iiiで該当するものをすべて提出してください。なお、提出書類が母国語で作成されている場合は、和文又は英文の翻訳文を添付してください。</p> <p>i. 志願者本人が学費・生活費を支払う場合(一部負担する場合を含む)</p> <p>①志願者名義の預金残高証明書(日本円又はUSドルによるもの)</p> <p>②当該預金の過去1年間の入出金の経緯が明らかになる預金通帳等の写し(鮮明なもの) ※提出不可能な場合は、その理由書を添付してください。(A4サイズ 書式は自由)</p> <p>③「資格外活動許可書」を取得している者はその写し</p> <p>④志願者の預金能力を裏付ける資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間総所得額の記載がある課税証明書 ・在職期間が記入された在職証明書(アルバイトを含む) ・現在、奨学金を受給している者は、奨学金受給証明書 <p>⑤入学年4月からの奨学金受給が決定している者は、奨学金の支給証明書</p> <p>ii. 外国(本国の親族等)から送金を受ける場合(一部援助を受ける場合を含む)</p> <p>①送金者本人が自筆により作成した経費支弁書(本学所定用紙)</p> <p>②戸籍謄本・住民票等、志願者と送金者の親族関係を立証する書類 ※中国国籍の方は現住所が記載されている親族関係公証書を提出してください。</p> <p>③送金者名義の預金残高証明書と(USドル又は日本円によるもの)と当該預金の過去1年間の入出金の経緯が明らかになる預金通帳等の写し(鮮明なもの)</p> <p>④送金者の預金能力を裏付ける資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間総所得額の記載がある課税証明書(過去3年分 年毎に作成) ・職業証明書(a.b.のいずれか) <ul style="list-style-type: none"> a. 会社員などの場合は、在職期間が記入された在職証明書 b. 会社経営者・個人経営者の場合は、送金者名と会社等の名称が記載された登記簿謄本・営業許可書等 <p>iii. 在日する親族等から送金を受ける場合(一部援助を受ける場合を含む)</p> <p>①送金者本人が自筆により作成した経費支弁書(本学所定用紙) ※印鑑は実印を使用してください。</p> <p>②印鑑登録証明書</p> <p>③支弁者名義の預金残高証明書と(USドル又は日本円によるもの)と当該預金の過去1年間の入出金の経緯が明らかになる預金通帳等の写し(鮮明なもの)</p> <p>④支弁者の預金能力を裏付ける資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間総所得額の記載がある課税証明書(過去3年分 年毎に作成) ・職業証明書(a～c.のいずれか) <ul style="list-style-type: none"> a. 会社員などの場合は、在職期間が記入された在職証明書 b. 会社経営者の場合は、支弁者名と会社等の名称が記載された登記簿謄本 c. 個人営業者の場合は、確定申告書控の写し <p>⑤経費支弁者の住民票(同一世帯全員が記載されたもの) ※市町村区役所が発行するもので、在留カードNo.(又は外国人登録番号)・在留資格・在留期限が明記されたもの</p> <p>⑥志願者と経費支弁者の関係を立証する書類 ※志願者と親族関係にある場合は、戸籍謄本・住民票等の親族関係を立証する書類(中国国籍の方は現住所が記載されている親族関係公証書)を提出してください。 ※親族以外の方が支弁する場合は、志願者と支弁者の関係を立証する書類を提出してください。</p>	○	○

11. 戸籍謄本・住民票等, 身元を証明する書類	○	○
12. パスポートの写し (氏名, 国籍, パスポート番号, 顔写真が記載されているページ)	○	○
13. 日本国内の大学で研究歴がある者は, その証明書	該当者のみ	該当者のみ
14. 住所シート (本学所定用紙)	○	○

(2) 第1次選考(書類審査及び出願資格審査)について

第1次選考では, 出願資格の審査対象(21頁「2 出願資格」(注)参照)となる志願者については出願資格審査と書類審査を行い, それ以外の出願資格による志願者については書類審査のみを行います。各審査結果は, 審査終了後本人へ通知します。

(3) 第2次選考検定料(入学検定料)の納入方法

第1次選考の結果, 受験が認められた方は第2次選考検定料を所定の期日までに納入してください。納入方法に関する詳細は, 第1次選考の書類提出時に別途指示します。

第2次選考検定料(入学検定料)	30,000円
-----------------	---------

(4) 出願上の注意

◆出願書類の提出は, 受付時に確認事項があるので, 特別な理由がない限り窓口へ持参してください。(国外志願者以外)

◆国外志願者については, 日本国内在住の知人を通じて行ってもかまいません。

① 該当する出願資格に記載された条件の内容を必ず確認してください。

② 出願書類に不備がある場合は受理しないことがあります。

③ 21頁の出願資格③・⑤に該当する者で, 提出不可能なものがある場合には, 事前に大学院事務課へ相談してください。

④ 志望専修科目欄記入にあたっては18頁の(1)専修部門・専修科目・専門分野・指導教員・指導教員研究領域から, 【専修部門】・【専門分野】・【指導教員】を選択し, 記入してください。なお, 出願前に必ず志望専修科目担当者(指導教員)に事前に連絡をとってください。

なお, 第一次選考(書類審査)後の専修部門・専門分野・指導教員の変更は認めません。

⑤ 出願手続等に関する照会は, 必ず志願者が行ってください。

志願者以外の照会には原則として回答しません。

⑥ 一度払い込まれた第2次選考料(入学検定料)及び提出された書類(論文含む)の返還請求には応じません。

⑦ 出願書類に虚偽の記載があった場合は, 入学許可を取り消すことがあります。

⑧ 健康の状況について

疾病・障がい等により, 受験時および修学上配慮を必要とされる方は, 出願前のできるだけ早い時期に大学院事務課へ相談ください。(症状についての具体的内容が記載された診断書や障害者手帳のコピーを追加で提出してください。)

5 願書(第1次選考書類)受付

① 受付時間

午前10時～午後4時(正午～午後1時を除く)

② 受付場所・問合せ先

福岡大学大学院事務課 (福岡大学 中央図書館6階)

福岡市城南区七隈八丁目19番1号(〒814-0180)

TEL (092) 871-6631 内線2913~2916

※郵送の場合は書留郵便とし, 受付最終日までに必着とします。

封筒の表には, 「薬学研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

6 受験票及び受験許可書

※出願手続完了者には、「受験票」を送付します。また、国外志願者には「受験許可書」^{注)}を発行し、併せて送付します。

※試験日の5日前までに到着しない場合は大学院事務課へ連絡してください。

※「受験票」は入学手続完了まで保管してください。

(注) 受験許可書は、国外志願者が来日受験するために、志願者本人が本国において行う出入国手続(受験を目的とする短期滞在ビザの取得)に便宜をはかるため発行するものです。

7 試験場・試験会場

福岡市城南区七隈八丁目19番1号 福岡大学

※ 試験会場については、試験日当日の午前8時30分に中央図書館西側1階入口(大学院エントランス)に掲示します。

※ 受験者は、全員午前9時までに試験会場に集合してください。

※ 試験場には、受験票、筆記用具を持参してください。

8 試験科目・試験時間

試験問題は、日本語または英語で出題します。

博士課程	
9:00	受験上の注意
9:15~10:45	外国語 英語 (英語での講義を希望する者は免除します。)
11:00~12:30	専 門 科 目
	15頁の専門科目より2科目選択 ※英語での受験者は、志願票及び副票/受験票にあらかじめ選択科目を記入して下さい。
15:00~	面接(口頭試問を実施する)

◆英語の受験には辞書(1冊)、専門科目の受験には電卓の持込みを許可します。

9 合格発表

① 合格発表日時

春季入学試験合格発表	令和6年3月4日(月)午前10時
------------	------------------

② 合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者へ入学手続書類を郵送(簡易書留)します。不合格者への通知はいたしません。

◇ 掲示場所：大学院事務課前(福岡大学内中央図書館6階)

- ③ 福岡大学公式ホームページ内の「大学院個別サイト」(<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載いたします。
- ④ 合否に関する電話による問合せには一切応じません。

10 入 学 手 続

- ※ 入学手続の詳細は、博士課程 16 頁の「10 入学手続」を参照してください。

〈外国人留学生 卒業/修了（見込）証明書、成績証明書、学位取得証明書について〉

- ・全ての証明書は、日本語又は英語で作成された原本であること。日本語・英語以外の言語で作成されたものは、日本語または英語の翻訳文を原本のコピーに添付して提出すること。
- ・卒業・修了に関する証明書に学位に係る記載がない場合は、学位の取得又は取得見込みを立証する書類の原本を提出すること。
- ・提出された証明書の原本は返却しません。
※原本を提出できない場合は、Certified true copy（証書の原本から正しく複製されたものであることを証明した公証書）を提出すること。

〈中国の教育機関出身の志願者へ〉

中国の教育機関出身者は、下記の認証機関において認証した「中国語版電子報告書」（学位・学歴・成績）を提出してください。

【学位取得証明書】

学位（学士号）の「認証報告」（中国語版電子報告書）

『中国高等教育学生信息网（CHSI）』（<https://www.chsi.com.cn>）が認証したもの

中国高等教育学歴認証報告（中国語版電子報告書）

『中国高等教育学生信息网（CHSI）』（<https://www.chsi.com.cn>）が認証したもの

【成績証明書】

中国高等学校学生成績検証報告（中国語版電子報告書）

『中国高等教育学生信息网（CHSI）』（<https://www.chsi.com.cn>）が認証したもの

認証機関以外からの認証結果は一切受け取りません。志願者本人または代理人が受信した電子認証報告メールの転送は無効となります。願書受付期間の最終日（必着）までに、福岡大学大学院事務課のメールアドレス（gakuin@adm.fukuoka-u.ac.jp）に認証結果が直接送付されるように手続きを行ってください。

個人情報の取扱いについて

本学では「個人情報の保護に関する法律」に基づき、「学校法人福岡大学個人情報保護規程」を定め個人情報の保護に努めています。「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づく、「個人番号」および「特定個人情報」に関しても同様です。本学学生の個人情報に関する基本的な姿勢と取扱いについてご説明いたします。

1. 法令の遵守と学内規程の整備

本学は、「個人情報の保護に関する法律」その他法令の規定を遵守すると共に、個人情報の取得、保管、利用など取扱いに関する必要な事項を定め、個人情報の適切な保護に努めます。

2. 個人情報の取得

本学は、本学の学生から個人情報を取得する際には、あらかじめ利用目的を特定し、その利用目的の達成に必要な範囲内において、公正な手段により取得します。また、思想、信条及び宗教に関する個人情報は取得しません。

〈主な利用目的〉

- 学生募集、入学試験に関する業務
- 履修・成績管理に関する業務
- 入学、卒業、退学、休学等の学籍管理に関する業務
- 課外活動、健康管理に関する業務
- 奨学金に関する業務
- 授業料その他納付金等の収納・督促に関する業務
- 就職・進路支援に関する業務
- 教育改善のための教学情報の活用に関する業務
- 個人番号関係業務
- 一般社団法人福岡大学同窓会有信会の運営に関する業務
- 福岡大学父母後援会の運営に関する業務
- その他学生生活、修学指導に関する業務

※詳しくは、大学ホームページに掲載している「学校法人福岡大学個人情報保護規程別表」等をご覧ください。

3. 個人情報の利用

本学が保有する個人情報は、法令に基づく場合を除き、本人の同意を得ないで、定められた利用目的以外の利用や、第三者への提供は行いません。

4. 個人情報の管理

本学は、個人情報の管理体制を整備し、個人データについては利用目的の達成に必要な範囲内において正確かつ最新の内容に保ち、漏えい、滅失又は毀損の防止など安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。

なお、個人情報の取扱いを外部に委託する場合は、委託先が個人情報の安全管理のために適切な措置を講じるよう監督し、その内容を委託契約に明記します。

5. 個人情報の開示等

本学は、本人からの当該保有個人データの開示、訂正（追加、削除含む）、利用停止の請求を受け付けます。

6. 個人情報に関する問合せ先

本学の個人情報に関する苦情やご質問は、個人情報の内容によって受付窓口が異なります。大学公式ホームページの個人情報関連のページをご覧ください。下記あてにお問い合わせください。

【問合せ先】 福岡大学 総務課

福岡大学大学院 長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、本来の標準修業年限（修士課程・博士課程前期＝2年、博士課程後期＝3年、博士課程＝4年）では履修が困難と認められる者について、長期履修学生として標準修業年限を超えて履修を可能とする制度です。

長期履修学生として申請するにあたっては、長期履修期間中の履修や研究方法等について、あらかじめ当該研究科・専攻（在學生は指導教員）に相談してください。

1. 対象者

長期履修学生として申請することができる者は、次のいずれかに該当する者としします。なお、外国人留学生（在留資格「留学」を有する者）は申請できません。

(1) 新たに本学大学院に入学（進学を含む）する者のうち、次のいずれかに該当するため、標準修業年限での履修が困難な者

- ① 職業を有し、就業している者
- ② 家事、介護、育児、出産等の諸事情を有する者
- ③ その他、研究科長が相当の事情があると認めた者

(2) 本研究科に在学する者のうち、次のいずれかに該当するため、標準修業年限での履修が困難な者

（在学中に、新たに標準修業年限での履修が困難となる事由が生じた場合。なお、標準修業年限における修了予定年次（最終学年）に在学している者は申請できません。）

- ① 職業を有し、就業している者
- ② 家事、介護、育児、出産等の諸事情を有する者
- ③ その他、研究科長が相当の事情があると認めた者

2. 長期履修期間

長期履修学生の履修期間および在学中に長期履修を開始することができる学年は次の通りです。

課程	標準修業年限	長期履修期間	最長在学年限	在學生長期履修開始可能学年
修士課程・博士課程前期	入学時から2年	入学時から3年または4年	4年	2年
博士課程後期	入学時から3年	入学時から4年または5年または6年	6年	2年、3年
博士課程	入学時から4年	入学時から5年または6年	8年	2年、3年、4年

※長期履修期間は入学時を開始基準とします。

※長期履修期間は1年間単位とします。

※長期履修学生の最長在学年限は、標準修業年限での履修生と同じです。

※休学期間は履修期間に含めません。

※長期履修学生の早期修了（標準修業年限より短い期間での修了）はできません。



3. 申請手続

(1) 申請期間

① 入学時から長期履修学生となることを希望する場合

……………入学試験出願時

② 在学生在新たに長期履修学生となることを希望する場合

……………開始を希望する前年度の1月末まで

(標準修業年限における最終学年在学者は申請できません。)

(2) 申請書類

① 長期履修学生申請書及び理由書(様式1)

② 研究計画書(博士課程後期および博士課程のみ)(様式2)

③ その他、当該研究科が必要と認める書類

※申請理由に応じて、長期履修を必要とすることを証明する書類等を提出していただく場合があります。

※申請書類は、大学院個別サイト (<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>) 内の「入学試験」メニュー⇒「長期履修制度」ページからダウンロードしてください。

4. 学費等納入金

(1) 入学時から長期履修学生となる場合

- ・基本的に標準修業年限の授業料等の総額を、長期履修期間の修業年数で按分した額が年額となります。
- ・2年目以降の学費等納入金のうち、「委託徴収金」の金額には多少の変動が生じることがあります。

(2) 在学生在新たに長期履修学生となる場合

- ・基本的に標準修業年限の授業料等の総額から既に納入した標準の授業料等の総額を減じた額を、長期履修期間の残りの修業年数で按分した額が年額となります。
- ・2年目以降の学費等納入金のうち、「委託徴収金」の金額には多少の変動が生じることがあります。

5. 結果の通知

(1) 入学時から長期履修学生となることを希望する場合

- ・長期履修を希望する事由や研究計画等に基づき審査の上、入学試験合格発表時に合格通知とともに送付します。

(2) 在学生在新たに長期履修学生となることを希望する場合

- ・長期履修を希望する事由や研究計画等に基づき審査の上、3月末までに通知します。

6. 長期履修期間の変更(延長・短縮・取消)

長期履修学生として許可された者が、長期履修の期間の延長、短縮あるいは取消を必要とする事由が生じた場合は、指導教員の承認を得た上で、長期履修期間の変更を1回に限り願い出ることができます。

(1) 変更の願出期間

・変更を希望する前年度の1月末まで

(2) 変更願出書類

①長期履修学生変更願書及び理由書

- ・延長(様式3)
- ・短縮(様式4)
- ・取消(様式5)

②その他、当該研究科が必要と認める書類

※申請理由に応じて、長期履修を必要とすることを証明する書類等を提出していただく場合があります。

(3) 変更可能な長期履修期間と学年

変更	課程	長期履修期間 (変更前→変更後)	変更手続き可能学年
延長	修士課程・博士課程前期	入学時から3年→4年	1年又は2年
	博士課程後期	入学時から4年→5年	1年, 2年又は3年
		入学時から4年→6年	1年, 2年又は3年
		入学時から5年→6年	1年, 2年, 3年又は4年
	博士課程	入学時から5年→6年	1年, 2年, 3年又は4年
短縮	修士課程・博士課程前期	入学時から4年→3年	1年又は2年
	博士課程後期	入学時から5年→4年	1年, 2年又は3年
		入学時から6年→5年	1年, 2年, 3年又は4年
		入学時から6年→4年	1年, 2年又は3年
	博士課程	入学時から6年→5年	1年, 2年, 3年又は4年
取消	修士課程・博士課程前期	入学時から3年→2年(標準)	1年
		入学時から4年→2年(標準)	
	博士課程後期	入学時から4年→3年(標準)	1年又は2年
		入学時から5年→3年(標準)	
		入学時から6年→3年(標準)	
	博士課程	入学時から5年→4年(標準)	1年, 2年又は3年
入学時から6年→4年(標準)			

※延長は、変更前の長期履修期間における最終学年在学者は願い出ることができません。

※短縮は、短縮後に1年以上の修業期間がない場合は願い出ることができません。

※取消は、標準修業年限における最終学年(修士課程・博士課程前期=2年, 博士課程後期=3年, 博士課程=4年)在学者は申請できません。

※変更は1回に限り願い出ることができません。

※取消を行った場合、あらためて長期履修学生に申請することはできません。

(4) 授業料等納入金

※授業料等納入金（以下、「授業料等」）とは、「授業料」及び「教育充実費」を指します。

※在学中、毎年度納入が必要な学生健康保険互助組合費等の「委託徴収金」は授業料等には含まれません。

①延長

・基本的に標準修業年限の授業料等の総額から既に納入した変更（延長）前の授業料等の総額を減じた額を、長期履修期間の残りの修業年数で按分した額が年額となります。

②短縮

・基本的に標準修業年限の授業料等の総額から既に納入した変更（短縮）前の授業料等の総額を減じた額を、長期履修期間の残りの修業年数で按分した額が年額となります。

③取消

・基本的に取消後は標準修業年限の授業料等年額になります。

・ただし、そこまでに納付すべき標準修業年限の授業料等の総額から既に納付した授業料等の総額を控除した額を、取消後の最初の年度に授業料に上乗せして徴収します。

(5) 結果の通知

・変更を必要とする事由や研究計画等に基づき審査の上、3月末までに通知します。

7. 長期履修制度利用にあたっての注意

・独立行政法人日本学生支援機構の奨学金貸与において、長期履修に応じた貸与は入学時に申請した場合にのみ適用されます。在学中の申請あるいは長期履修期間の変更等を行う場合は対象外となることがあります。

